

宇治市芸術文化協会記念誌を発行

- 宇治市文化行政に対する現状と提言
- 宇治市文化行政の現状
- 文化振興計画の実現に向けて



事務局だより

3月 5日 山城地方文化協会等協議会が、八幡市文化協会の担当で八幡市の松花堂美術館講習室にて、28年度下期の地域の文化活動についての情報交換が行われ、宇治市芸術文化協会から野上会長はじめ役員が参加しました。会議の前に、石清水八幡宮の神殿内を巡り貴重な文化遺産の説明を受けました。次期担当地域は、京田辺文化協会です。



3月 29日 協会相談役の山崎、長野、服部、木本市議会議員と野上会長、矢野副会長、田中事務局長とで議会棟 2 階会議室にて「宇治市文化行政に対する」会議を行いました。

4月 4日 協会事務所にて、10 周年記念事業、式典内容等進捗状況についてミニ会議を行いました。

4月 11日 市民文化芸術祭業務受託に関する契約調印、協会が 29 年度の市民文化芸術祭の事務局を担う事となりました。

4月 29日 協会副会長の矢野友次郎氏が地方自治功勞で旭日双光章を受章されました。

宇治市三曲協会 安田莞壮さん (中三) 宇治市ジュニア文化賞受賞



近頃、テレビのBS放送や、インターネット等で、邦楽の演奏を耳にする機会が少し増えてきたように感じられます。青少年を中心に、箏や尺八の音色に関心をもって頂くことは、邦楽関係者の強い願いでもございました。

そのような時、ことし三月、現在中学三年生の安田莞壮さん(三好莞山師門下)が尺八の素晴らしい演奏を認められ、宇治市ジュニア文化賞を受賞なさいました。我々の宇治の地にも希望の星がキラリと輝き邦楽界に於いて、又私達三曲局協会会員一同にとりまして心弾むうれしいニュースとなりました。今後のご活躍を期待いたしますと共に、私達会員一同も、邦楽の素晴らしさを伝承し、発展させるために、より一層の努力、精進につとめる決意をあらためてした次第です。



(宇治市三曲協会会長 日野田 美和

第 47 回定期演奏会ご挨拶より抜粋)